PF研究会 2011/1/11

実験と計算機シミュレーションによる 3,4,5,6,8,12波ケースのピンホールトポグラフ

沖津康平1, 今井康彦2, 依田芳卓2, 石綿元3.4

¹東大工,²JASRI,³総研大,⁴統数研

 $\frac{\partial}{\partial s_i} D_i^{\prime(l)}(\mathbf{r}) = -\mathrm{i}\pi K \sum_{j=0}^{n-1} \sum_{m=0}^{1} \chi_{h_i - h_j} \exp[\mathrm{i}2\pi (\mathbf{h}_i - \mathbf{h}_j) \cdot \mathbf{u}(\mathbf{r})] C_{i,j}^{(l,m)} D_j^{\prime(m)}(\mathbf{r}),$

where $i, j \in \{0, 1 \cdots n-1\}, l, m \in \{0, 1\}, n \in \{2, 3, 4, 5, 6, 8, 12\}.$

r:位置ベクトル,

 $\mathbf{s}_i: i$ 番目の波の伝播方向の単位ベクトル, $\mathbf{e}_i^{(0)}, \mathbf{e}_i^{(1)}: \mathbf{s}_i$ に垂直な単位ベクトル,

 $(\mathbf{s}_i, \mathbf{e}_i^{(0)}, \mathbf{e}_i^{(1)}$ は,この順に右手系をなす), h:反射ベクトル,

 $\frac{\partial}{\partial s_i}$:*i*番目の波の \mathbf{s}_i 方向の微分,

 $D_{i}^{\prime(l)}: i$ 番目の波, l偏光の振幅,

K:波数(1/λ),

 $\beta^{(0)}, \beta^{(1)}: \mathbf{e}_0^{(0)}, \mathbf{e}_0^{(1)}$ 方向への反射条件のズレ角, S, C: 偏光因子;

 $\mathbf{e}_{j}^{(m)} = S_{i,j}^{(m)} \mathbf{s}_{i} + C_{i,j}^{(0,m)} \mathbf{e}_{i}^{(0)} + C_{i,j}^{(1,m)} \mathbf{e}_{i}^{(1)},$ χ_{h} :電気分極率の**h**次のフーリエ係数 **u**:格子変位ベクトル.



6波ケース

チャンネルカット結晶の形

(新理論とその数値解法が、複雑な形状の結晶に対応することを 示すため、あえて複雑な形の結晶を使った)





コンピューターで計算した写真 著者による







実際に撮影したX線写真 著者(沖津),石綿、今井、依田 撮影 SPring-8 BL09XU にて



3波ケース (拡大)













著者(沖津), 今井, 依田 撮影 SPring-8 BL09XU にて コノビューツーで計算したう具 著者による Hitachi SR-11000スーパーコンピュータにて













5波ケース (拡大)











実際に撮影したX線写真 著者(沖津),今井,依田 撮影 SPring-8 BL09XU にて



8波ケース (拡大)





実際に撮影したX線写真

コンピューターで計算した写真



12波ケース(22.0keV)



実際に撮影したX線写真 著者(沖津),石綿、今井、依田 撮影 SPring-8 BL09XU にて



12波ケース (拡大)



著者(沖津),石綿,今井,依田 撮影 SPring-8 BL09XU にて



まとめ

$$\frac{\partial}{\partial s_i} D_i^{\prime(l)}(\mathbf{r}) = -i\pi K \sum_{j=0}^{n-1} \sum_{m=0}^{1} \chi_{h_i - h_j} \exp[i2\pi(\mathbf{h}_i - \mathbf{h}_j) \cdot \mathbf{u}(\mathbf{r})] C_{i,j}^{(l,m)} D_j^{\prime(m)}(\mathbf{r}),$$

where $i, j \in \{0, 1 \cdots n-1\}, \quad l, m \in \{0, 1\}, \quad n \in \{2, 3, 4, 5, 6, 8, 12\}.$



理論と数値計算法の正しさが確かめられた